

県内学校ミニ・ニュース (多古町立多古中学校)

本校は、昭和48年4月1日、3つの中学校が合併統合し、今年で創立50年目を迎えます。平成16年文部科学省より「キャリア教育推進地域指定事業」の指定を受け、平成18年11月には公開研究会を実施しました。また、「多古の子、町の子、みんなの子」をスローガンとして、町民が一体となってキャリア教育を推進しています。このような地域の教育力を活用し、各分野で功績のある方々を中学校に講師としてお招きし、生徒との交流を通してキャリア教育を推進する活動を「道セミナー」と名付けて、各学年で開催しています。

その中で、1年生には本町が成田空港に隣接しているという地理的特徴を活かし、空港に関する職員【成田国際空港職員、日本航空職員（パイロット、客室乗務員、整備士等）】から、毎年講話をしていただいております。今年度の実施の様子をご紹介します。

＜講話内容＞



講師自己紹介

○空港職員

- ・ 空港とはどんな場所でどのような仕事があるか。
(免税店、飲食店含む)
- ・ 最先端技術導入の紹介：顔認証パスといった事例
- ・ 講師の具体的な仕事の紹介：悪天候、災害時のお客様への対応→安全・安心な運航を目指している
- ・ 仕事のやりがい：意見がまとまったとき、達成感を感じる。また、お客さまからの「ありがとう」と言われた時、やりがいを強く感じる。

○パイロット（機長）

- ・ 飛行機に乗るためのライセンス、資格について
(飛行機の機種・大きさごとに資格が必要)
- ・ 飛行機は機長と副操縦士の2名のパイロットがいること。
また頭の中では、安全の確保を最優先に考えていること。
(その他、定時制・快適性・環境面に配慮。運航効率を高めることも考える。)
- ・ パイロットの資質：飛行機を飛ばすために支えている人がたくさんいる
その事を考えて、周りを見渡せる広い視野と冷静さが求められる。

○客室乗務員

- ・ 持ち物紹介【パスポートや身分証、iPad（マニュアル確認）、
メッセージカード（お礼を書く）】
- ・ 仕事内容：パイロットとの打合せ、飛行時間、状況、揺れの情報確認、
機内サービス、着陸準備
- ・ 仕事のやりがい：お客さまや仲間との出会い。コミュニケーション力の
向上。外国にたくさん行くことができ、グローバルな
視点がもてること。

講話の後、各学級で振り返りを行いました。生徒たちから「多くの人たちの力が結集して仕事が行われている。チームワークが大切だということが改めて分かった。」「さまざまなことに気をつけて仕事をして、お客さまのためにたくさん努力していることが印象に残った。」「未来の成田国際空港の現状を理解できた。私も成田国際空港で働いてみたい。」などの意見が出され、仕事の大切さや将来の職業人としての未来を前向きにとらえている様子がうかがえました。

本校の保護者や町民の中には、空港関係の仕事に従事している人がいます。今後も、地域の教育力を活かしたキャリア教育を推進していきたいと考えています。



講師講話（空港職員）



講師講話（パイロット）



講師講話（客室乗務員）



生徒代表お礼の言葉